

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 546

事務事業名	大村市歴史資料館(仮称)整備事業	
-------	------------------	--

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	文化振興課		
課長名	三ヶ島 恵利子	内線	375
担当者名	今村 明	内線	372

基本目標	010301	人を育むまち
政策		文化の振興と生涯学習の充実
施策		文化財の保護・活用・継承
関連施策		

会計	01	一般会計
款	10	教育不
項	5	社会教育費
目	4	史料館費
事業コード	040000	大村市歴史資料館(仮称)整備事業

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	大村市歴史資料館(仮称)		
意図 対象をどのような状態にしたいか	大村の歴史遺産を継承し、郷土学習や大村の歴史に関する情報発信の拠点となる施設を整備する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	大村市歴史資料館(仮称)の整備を行う。 ・展示基本・実施設計 ・展示工事 ・建設工事		
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	実施方法	直営

成果指標名				算定式等	新施設完成を100%
着手前現状値	平成 26 年度	単位	%	0	
完了後計画値	平成 30 年度			100	

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額			21,903		12,157	6,990	41,050
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	53.36%	53.36%	82.97%	100.00%	100.00%
用地・補償	実績・計画額							
	項目別進捗率							
建設工事	実績・計画額				19,654	215,499	879,639	1,114,792
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	1.76%	21.09%	100.00%	100.00%
事務費等	実績・計画額				304	10,586	40,975	7,165
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.51%	18.45%	87.86%	100.00%
合計	実績・計画額	0	0	21,903	19,958	238,242	927,604	7,165
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	1.80%	3.45%	23.06%	99.41%	100.00%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
① 事業費(千円)	0	0	21,903	19,958	238,242	927,604	7,165	0		
国庫支出金			16,736	8,059	110,688	398,624				
県支出金										
地方債			4,600	7,200	104,200	443,300				
その他										
一般財源			567	4,699	23,354	85,680	7,165			
② 人件費(千円)	0	0	4,363	6,701	事業内容	事業内容	事業内容	B/C		
職員人数(人)			0.58	0.85	建設工事 解体工事 仮移転作業	建設工事 展示工事 移転作業	移転作業			
時間外勤務(時間)			136	260						
嘱託等人数(人)										
フルコスト(①+②千円)	0	0	26,266	26,659						

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)		建築設計、展示設計を行い、建設工事準備中。 平成29年度から 建設工事に着手の予定。				
<b>事業が抱える問題・課題等</b>						
<b>妥当性</b>	<b>【必要性】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	郷土の歴史を伝えていくためには、歴史資料の保存や公開を行う歴史資料館は必要である。					
<b>有効性</b>	<b>【緊急性】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	県立・市立一体型図書館内に併設されることから、新図書館のスケジュールに合わせて整備する必要がある。					
<b>効率性</b>	<b>【施策成果】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	歴史資料館の整備は、文化財の保存や郷土の歴史情報の発信への効果が大きい。					
<b>効率性</b>	<b>【コスト】</b>	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし	
	コストの削減に取り組んでいくが、建設工事費などは、県との負担割合で決定しており、削減は難しい状況である。					
<b>効率性</b>	<b>【負担割合】</b>	見直しの余地なし		見直しの余地あり	該当なし	

【ACTION(改善・改革)】

<b>今後の方向性</b>	拡充
---------------	----

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	一体型図書館と協議を進め、建築工事の着工、整備、開館に向けて事業を進めていく。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

<b>1次評価</b>	今後の方向性	担当者意見のとおり		<b>2次評価</b>	対象外	今後の方向性	
	終期設定				終期設定		
	意見等				内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。